

平成 29 年度学校経営計画



広島県立加計高等学校

平成 29 年度学校経営計画

平成 29 年度～平成 31 年度

校番	20	学校名	広島県立加計高等学校	校長氏名	小 田 均	全・定・通	本・分
----	----	-----	------------	------	-------	-------	-----

1 ミッション（地域社会における自校の使命）

校訓「誠実・自主・気魄」の精神に則り、
 (1) 自らの夢や目標が実現するよう努力し続け、かわいがられる生徒を育成する。
 (2) 地域社会を支える人材を育成する。

2 ビジョン（使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像）

- (1) 目指す生徒像
 「ルールを守り」・「マナーを守り」・「日本の心を守る」そして「かわいがられ、地域貢献する人材育成」
- (2) 目指す学校像
 「魅力を作り」・「魅力を発信し」・「生徒募集を行い」・「楽しい学校の実現」
- (3) 魅力作り（人格形成部門）推進 2 項目
 ①地域ボランティア
 ②国際交流
- (4) 魅力作り（学力向上部門）推進 2 項目
 ①アクティブラーニング（課題発見・課題解決型協調学習）
 ②応募活動

3 環境分析

項 目	現 状									
(1) 学校評価アンケートの結果	質 問 の 内 容				生 徒 (87)	保 護 者 (84)	中学校 先生 (15)	中学校 2 年 生 (30)		
	(1) 加計高校を選んでよかった。(行きたい/行かせたい)				3.5	3.6	3.6	2.7		
	(2) 加計高校の授業は教え方が工夫されていて分かりやすい。				3.4	3.2	3.6	3.7		
	(3) 加計高生は授業に意欲的に取り組んでいる。				3.3	3.2	3.2	3.5		
	(4) 加計高校は学校行事が活発である。				3.4	3.3	3.8	3.7		
	(5) 加計高校では進路についての情報提供が適切にされている。				3.6	3.2	3.4	3.7		
	(6) 加計高校では進路についての個別指導が充実している。				3.5	3.1	3.7	3.8		
	(7) 加計高校はきまりやマナーを守る指導に力を入れている。				3.5	3.2	3.2	3.6		
	(8) 加計高校は掃除の徹底など、環境美化に力を入れている。				3.3	3.3	3.2	3.7		
	(9) 加計高校は部活動が活発である。				3.1	2.9	3.1	3.5		
	(10) 加計高校の先生は親身になって生徒の相談にのっている。				3.3	3.2	3.2	3.6		
	(11) 加計高校の施設・設備はよく整備されている。				3.5	3.3	3.8	3.5		
	(12) 高等学校間の連携推進事業により、加計高校の教育環境は向上した。				3.3	3.2	3.5	3.6		
	(13) 加計高校はボランティア活動が活発であり、地域貢献に努めている。				3.7	3.5	3.8	3.9		
(2) 卒業生の進路		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	進 学	国公立大学	3	0	1	2	3	4	3	2 (7.7%)
		私立大学	5	11	2	7	8	7	3	5 (19.2%)
		短大	4	3	4	1	4	0	2	2 (7.7%)
		専門学校	11	7	8	9	6	13	7	12 (46.2%)
	就 職	公務員	0	1	2	1	2	1	1	1 (3.8%)
		企業	11	7	5	9	10	7	13	3 (11.5%)
		その他	3	0	1	0	0	1	0	1 (3.8%)
	(3) 共通学力テストの結果	平均通過率の伸び	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
		国語B-A (%)	-0.2	3.6	2.0	-8.2	6.5	-13.2	0.1	
数学B-A (%)		12.6	-6.5	0.9	-5.0	1.9	-7.2	-0.1		
英語B-A (%)		1.7	4.0	1.7	-3.7	-5.1	-13.2	-4.0		
3教科平均		4.7	0.4	1.5	-5.6	1.8	-11.2	-1.3		

(4) 学習の状況

1週間の学習時間の合計		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
1年平均	試験週間	8.8	7.4	12.8	8.7	15.2	11.6	14.6
	平日	4.3	3.3	4.8	3.1	5.7	5.2	5.4
2年平均	試験週間	12.6	5.9	10.4	9.9	11.6	13.9	14.3
	平日	4.1	2.5	2.2	3.7	3.9	5.9	4.3
3年平均	試験週間	11.8	9.6	8.1	12.2	13.2	9.7	13.8
	平日	4.2	6.3	4.6	7.2	6.1	6.0	8.0

(5) 生徒指導

① 特別指導等の状況

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
特別指導件数	7	6	3	3	5	7	5	3
服装頭髪指導	38	22	15	4	16	61	60	120

② 休転退学の状況

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
在籍者数	99	94	96	100	99	91	92	101
休学者数	4	1	1	0	0	0	0	0
転学者数	1	0	3	1	3	0	0	2
退学者数	5	3	5	1	1	0	2	1

③ 部活動の状況

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
野球	13	15	16	16	17	13	14	14
バレーボール(女)	11	9	7	6	7	6	9	8
バレーボール(男)	9	9	7	11	11	13	13	15
卓球	3	1	—	9	14	18	16	20
陸上競技	10	6	4	7	9	5	2	3
射撃	10	11	18	18	15	17	15	19
テニス	3	4	1	1	0	0	—	—
サッカー	—	—	—	—	—	—	—	—
バスケットボール	—	—	—	—	—	—	—	—
剣道	—	—	—	—	—	—	—	—

(6) 地域連携

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
神楽	—	—	—	—	—	—	—	—
美術	3	1	7	8	11	7	9	13
茶華道	7	5	10	5	11	8	7	4
吹奏楽	—	—	—	—	—	—	—	—
軽音楽	5	5	10	16	15	10	9	22
科学	—	—	—	—	—	—	—	—

(7) SWOT分析

① 地元率 地元3中学校からの入学者数

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
生徒数	62	70	59	67	45	62	47	56	35
入学者数	19	27	30	28	18	24	25	30	16
全体	31	40	36	36	30	28	37	40	31
地元率(%)	30.6	38.6	50.8	41.8	40.0	38.7	53.2	53.6	45.7

② 県及び地域の連携・支援体制

- ・ 連携型中高一貫教育
- ・ 高等学校間の連携推進事業
- ・ 広島県立加計高等学校を育てる会
- ・ 広島県立加計高等学校同窓会
- ・ 安芸太田町保幼小中高連携教育
- ・ 加計高等学校活性化地域協議会

① 分析

外部環境	[機会] 町からの支援 保幼小中高連携教育 高等学校間の連携 [脅威] 生徒数の減少
内部環境	[強み] 少人数指導 個別指導 進路にあったカリキュラム [弱み] 学力差がある 通学に負担がかかる

② 戦略・重点施策

- ア キャリア教育を推進し、1年次より明確な進路目標を掲げさせる。
- イ 基礎・基本を徹底し、共通学力テスト通過率を指標とし、進路目標を実現できる学力を身に付けさせる。
- ウ 学習環境を整え、自ら学ぶ意欲と学習習慣を身に付けさせる。
- エ 規範意識等を高め、頭髪・服装指導を組織的に取り組み、規律ある学校生活を確立させる。
- オ 部活動や生徒会活動等の活性化を図り、集団の中で責任ある行動をとる態度を育成する。

カ 姉妹校等との交流活動を通して、様々な価値観に触れさせる。
 キ 授業づくりを進め、指導力の向上を図り、授業評価を高める。
 ク 効果的な研修を実施し、不祥事防止意識を高揚し、不祥事ゼロを継続する。
 ケ 保・幼・小・中・高・大連携を推進し、地域の人材育成に貢献するとともに、地域に対して積極的に情報発信を行い、地元中学生の本校への入学率を高める。
 コ 外部指導者の招聘など、地域の教育力を生かした学校教育を展開する。
 サ ボランティア活動等を通して、積極的な地域貢献を行っていく。

学校経営目標

達成目標	評価指標	実績値				担当 部等
		28年度	29年度	30年度	31年度	
1 生徒一人一人に生きる力を育む学校						
① 確かな学力を育成し、進路目標を実現できるよう支援する。						
■キャリア教育を推進し明確な進路目標を掲げさせるとともに、基礎・基本を徹底し進路目標を実現できる学力を身に付けさせる。	進路実現満足度 (%)	92	100	100	100	進路指導
	共通学力テストの伸び率(ポイント)	-4.5	2	2以上	2以上	教務 教科
■学習環境を整え、自ら学ぶ意欲と学習習慣を身に付けさせる。	授業以外の学習時間(時間)	6	9	10	10以上	教務 教科 担任
② 心と体を鍛え「誠実・自主・気魄」を涵養する。						
■規範意識等高め規律ある学校生活を確立させるとともに、教育相談等を通して生徒一人一人が安定した高校生活を確立できるよう支援する。	頭髮・服装検査の指導対象者の割合 (%)	13%	4%未満	4%未満	4%未満	生徒指導
■部活動や生徒会活動等の活性化を図り、集団の中で責任ある行動をとる態度を育成する。	自己責任に対する意識 (%)	68%	65%以上	65%以上	65%以上	生徒指導
■体力の向上を図り、健康を維持し、気魄を涵養する。	新体力テストの結果(学校平均値)	シャトルラン 3%DOWN 長座体前屈 6%UP	シャトルラン 4%UP 長座体前屈 4%UP	シャトルラン 6%UP 長座体前屈 6%UP	シャトルラン 8%UP 長座体前屈 8%UP	保健体育
③ 国際的視野を広げ、コミュニケーション能力を身につけさせる。						
■海外の姉妹校等との国際交流活動に積極的に取り組み、様々な価値観を知り、自己と他者をともに大切にできる力を育成する。	姉妹校等との交流活動(回数)	6回	5回以上	5回以上	5回以上	教務
2 保護者・地域から信頼される学校						
① 教職員の指導力や職務遂行能力の向上を図る。						
■「授業づくり」等を進め、指導力の向上を図る。	授業評価(アンケートの評定平均値)	3.0	3.2	3.2以上	3.2以上	教務

② 危機管理を徹底する。						
■不祥事防止意識を高揚し不祥事ゼロを継続するとともに、安全点検を徹底し危険箇所等を早期に見出し整備する。	不祥事根絶のための研修会(教員主導の回数)	4	4	5	5以上	不祥事防止委員会

3 地域とともに歩む学校						
① 地域と連携し、開かれた学校づくりを推進する。						
■保・幼・小・中・高・大連携を推進し、地域の人材育成に貢献する。	連携回数(授業研修等)	11回	15回以上	15回以上	15回以上	教科各部
■積極的に広報活動を行い、学校の魅力を発信し、地域内外の生徒・保護者にとって「行きたい学校」「行かせたい学校」となる。	入学定員充足率(%)	100%	93%	93%以上	93%以上	教務管理職
② 地域の「もの・ひと・こと」に学び、地域の発展に寄与する。						
■外部指導者を招聘するなどして地域の教育力を生かした学校教育を展開するとともに、ボランティア活動等を通して積極的な地域貢献を行っていく。	自己有用感(%)	54.7%	58%以上	58%以上	58%以上	生徒指導

5 行動計画

学校経営目標			
達成目標	本年度行動計画	中期行動計画	担当部等
1 生徒一人一人に生きる力を育む学校			
① 確かな学力を育成し、進路目標を実現できるよう支援する。			
■キャリア教育を推進し明確な進路目標を掲げさせるとともに、基礎・基本を徹底し進路目標を実現できる学力を身に付けさせる。	ア 学年毎及び全校での進路検討会議等をおして情報を共有し、個別指導を徹底する。 イ 講師を招聘して、キャリア教育に関する講演会等を開催する。 ウ 国語、数学、英語を中心に少人数・習熟度別クラス編成の授業を実施する。 エ 計画的に宿題・課題を提供するとともに、小テストやノート点検等で個々の生徒の学習状況を確認して指導する。	生徒の情報を共有して、全職員で多面的に個別指導を徹底する。全体指導においては、専門家の力を借りるなどして、最新の情報を共有していく。また、小規模校の利点を生かし、個に応じたきめ細やかな授業と徹底した個別指導を通して基礎・基本の習得と学力向上を図り、進路目標を実現させる。	進路指導 教務 教科
■学習環境を整え、自ら学ぶ意欲と学習習慣を身に付けさせる。	ア 進路対策講座、夏期・冬期補習、学習合宿等を実施する。 イ 全員模試を年3回以上実施する。 ウ 定期考査毎に居残り学習会を行う。 エ 家庭学習時間調査を年6回実施し、課題のある生徒には個別指導を行う。	授業内容の定着や進路目標実現のための実学的学習を促す指導体制を構築し、学校に引きつけて学習の動機付けを図りながら、自ら学ぶ意欲と学習習慣を身に付けさせる。	進路指導 教務 担任
② 心と体を鍛え「誠実・自主・気魄」を涵養する。			
■規範意識等を高め規律ある学校生活を確立させるとともに、教育相談等を通して生徒一人一人が安定した高校生活を確立できるよう支援する。	ア 月毎の全校集会で服装・頭髪検査を実施し、違反者等に対して事後指導を行う。 イ 授業規律を確立するために、年度当初に「加計高授業規律」を決めて全員で徹底する。 ウ 課題に対して早期に対応できるよう、生徒面接を充実するとともに、スクールカウンセラーの活用促進を図る。	生徒に分かりやすい明確な基準を示し、指導を徹底することで規範意識を高め、見た目でも損をしている実態を改善する。また、休転退学者を出さないよう、小規模校の利点を生かし、個に応じたきめ細やかな相談体制と組織的な支援体制を確立する。	生徒指導 教務 担任

	エ 学期毎に生徒連絡会議を持ち、生徒に関する情報を共有し、組織としての対応を強化する。		
■部活動や生徒会活動等の活性化を図り、集団の中で責任ある行動をとる態度を育成する。	ア 生徒会執行部や各部部員による新入生や中学生に対する啓発活動を強化する。 イ 主な生徒会行事毎に事後アンケートを実施し、次年度の改善点を整理する。	部活動や生徒会活動等を通して、自分の役割を責任を持って果たし、他者と協力し合うなど、仲間づくりの方法等を学び、自己肯定感を高める。	生徒指導
■体力の向上を図り、健康を維持し、気魄を涵養する。	ア 体育の授業で補強運動を行う。 イ 体育の授業全体での運動量を増やす。 ウ 体育の授業で柔軟性を向上させるためのストレッチを行う。	体育の授業に体力向上に向けたプログラムを取り入れるとともに、部活動や日常生活での体力向上に対する意識付けを行い、健康を維持し、気魄を涵養する。	保健体育
③ 国際的視野を広げ、コミュニケーション能力を身につけさせる。			
■海外の姉妹校等との国際交流活動に積極的に取り組み、様々な価値観を知り、自己と他者をともに大切にする力を育成する。	ア 海外の姉妹校等との国際交流活動を積極的に実施する。 イ 本校及び地域のよさを海外に情報発信する。	国際交流活動を通して、様々な価値観を知り、自己と他者をともに大切にする力を育成し、コミュニケーション力を身につけさせる。	教務
2 保護者・地域から信頼される学校			
① 教職員の指導力や職務遂行能力の向上を図る。			
■「授業づくり」等を進め、指導力の向上を図る。	ア 各学期に、シラバスに基づいた説明を行う。 イ 外部講師を招聘しての授業づくり研修及び公開授業等を年複数回実施する。	シラバスの見直しと更なる活用を図り、生徒・教師一体となった授業づくりを推進する。また、指導力向上のための研修を計画的に企画するとともに、参加体制を確立する。	教務
② 危機管理を徹底する。			
■不祥事防止意識を高揚し不祥事ゼロを継続するとともに、安全点検を徹底し危険箇所等を早期に発見し整備する。	ア 年度当初に、服務規律に係る全体研修を企画・実施する。 イ 「不祥事防止チェックリスト」を活用した面談を年2回実施する。 ウ 安全点検を年3回以上実施する。	不祥事防止委員会と連携して実効ある研修を実施するとともに、職員相互のコミュニケーションを密にして、相談・指摘しあえる組織を確立する。生徒・職員の安心・安全を常に意識する。	管理職 事務室
3 地域とともに歩む学校			
① 地域と連携し、開かれた学校づくりを推進する。			
■保・幼・小・中・高・大連携を推進し、地域の人材育成に貢献する	ア 地元中学校とは学期に3回以上、近隣中学校とは学期に1回以上連携を行う。 イ 子ども園及び小学校との連携を強化する。	進路指導等に関する中学校への情報提供や支援活動、子ども園及び小学校の教育活動への協力などを通して、地域の教育の充実に貢献するとともに、本校の地元率向上に繋げる。	教務 管理職

<p>■積極的に広報活動を行い、学校の魅力を発信し、地域内外の生徒・保護者にとって「行きたい学校」「行かせたい学校」となる。</p>	<p>ア 学校の魅力づくりに生徒自らが主体的に加わる。 イ 広報誌「五輪の峰」を月毎に作成し発行する。 ウ ホームページを常に更新し、新しい情報を発信する。 エ マスコミに積極的に情報提供し、取材を働きかける。</p>	<p>広報誌及び学校ホームページを活用した広報活動やマスコミに取り上げられることを通じて、加計高校の魅力を地域に発信し、学校に対する信頼感を醸成する。</p>	<p>教務 各部 管理職</p>
<p>② 地域の「もの・ひと・こと」に学び、地域の発展に寄与する。</p>			
<p>■外部指導者を招聘するなどして地域の教育力を生かした学校教育を展開するとともに、ボランティア活動等を通して積極的な地域貢献を行っていく。</p>	<p>ア 総合的な学習の時間や学校設定科目等の授業に、外部講師を招聘する。 イ 学校行事等に地域の人材を招聘する。 ウ 生徒会活動の一環として、地域行事への参加や環境美化等のボランティア活動を推進する。 エ 専門コースの学習の一環として、子どもや高齢者を対象とするボランティア活動を推進する。</p>	<p>地元教育委員会や小中学校等と連携して人材発掘に努め、人材バンクを作成して学校教育に協力していただける体制を整える。また、過疎化や少子高齢化が進む地域社会に対して、積極的なボランティア活動を行い、若者の力で地域の活性化を推進する。</p>	<p>教務 生徒指導 教科</p>